

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 ある国における貿易の統計データによると、輸出品目の上位は鉄鉱石、石炭、金の順となっており、主な輸出相手国は第1位が中国、第2位が日本、第3位がアメリカとなっています。この国に該当する国名を答えなさい。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. オーストラリア 2. カナダ 3. 南アフリカ共和国 4. ブラジル

問2 南アメリカ大陸を東西に横断する地形断面について考えたとき、大陸の西端には標高2500メートルを超える非常に急峻な山岳地帯が位置し、そこから東側に向かって標高が急激に下がるという特徴が見られます。この、大陸の西側に位置し高い標高を形成している山脈の名称として正しいものを選択肢から選びなさい。（2026年 島根公立入試 類似）

1. アンデス山脈 2. ロッキー山脈 3. ヒマラヤ山脈 4. アルプス山脈

問3 1960年代から2010年代にかけてのオーストラリアの貿易相手国の変化に関する記述として、統計上の変遷を正しく述べたものはどれか。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. 1960年代には日本やイギリスが主要な輸出相手国であったが、2010年代には中国の割合が最大となり、イギリスの割合は大幅に減少した。
2. 1960年代から一貫してアメリカ合衆国が最大の輸出相手国であり、21世紀に入ってもその地位は揺るぎないものとなっている。
3. 1960年代にはイギリスの割合が圧倒的であったが、2010年代には隣国であるニュージーランドが最大の輸出相手国となった。
4. 1960年代から現在に至るまで、欧州諸国が輸出額の半分以上を占め続けており、アジア諸国との取引は停滞している。

問4 南アメリカ州のブラジルと日本の経済的な関係について述べた文として、資源の流通の観点から最も適切なものを選びなさい。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. ブラジルは世界有数の鉄鉱石の産出国であり、日本にとってオーストラリアに次ぐ第2位の輸入相手国となっている。
2. ブラジルは広大な熱帯雨林を活かした石炭の産出が盛んであり、日本の火力発電を支える最大の輸入先である。
3. ブラジルはアンデス山脈の鉱山から得られる銅鉱の産出量が多く、日本への輸出額が最も多い国である。
4. ブラジルはアマゾン川流域での原油採掘が中心となっており、日本が中東以外で最も多く原油を輸入している国である。

問5 南アメリカ大陸の地理的な広がりについて説明した次の文章のうち、空欄に当てはまる国名として正しいものを選びなさい。「（ ）は、赤道付近から南緯30度付近にかけて広がる大陸東部の広大な領域を占めている。大陸西側のアンデス山脈沿いに位置するペルーや、大陸南部のラプラタ川流域に位置するアルゼンチンなどと国境を接する、大陸最大の国家である。」

（2019年 大阪公立入試 類似）

1. ブラジル 2. エクアドル 3. パラグアイ 4. ウルグアイ

問6 オーストラリア東岸に位置するタウンズビルの気候データにおいて、気温の折れ線が年間を通じて20度以上を維持し、1月や2月の降水量が300ミリメートル近くに達する一方で、7月や8月の降水量が極端に少ないという特徴が見られます。この地域の季節と降水量の関係について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 愛知公立入試 類似）

1. 南半球に位置するため、夏季にあたる1月や2月に降水量が集中している。
2. 北半球に位置するため、冬季にあたる1月や2月に降水量が集中している。
3. 南半球に位置するため、冬季にあたる7月や8月に降水量が集中している。
4. 地中海性気候の影響を受けるため、夏季にあたる1月や2月に降水量が著しく減少している。

問7 世界を6つの州に区分したとき、南半球に位置するオーストラリア大陸と、ニュージーランド、および太平洋の島々を合わせた地域の名称として正しいものを選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

1. オセアニア 2. アジア州 3. 北アメリカ州 4. アフリカ州

問8 オーストラリアでは、かつて先住民の権利が制限されていた歴史を反省し、現在は彼らの文化や権利を尊重する政策へと転換しています。その象徴として、先住民の聖地である「ウルル（エアーズロック）」の管理権が先住民に返還されるなどの措置が取られていますが、このように多様な民族が互いの文化を認め合いながら共生する社会を目指す考え方を何といいいますか。

（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 多文化社会 2. 白豪主義 3. アパルトヘイト 4. 同化政策

答え合わせ・解説

問1	答え 1 オーストラリア	鉄鉱石、石炭、金という輸出品目の構成と、中国・日本を主要な輸出相手国とする特徴は、資源大国であるオーストラリア特有のもので、カナダはアメリカとの貿易が圧倒的に多く、南アフリカも金は産出しますが貿易相手国の構成が異なります。オーストラリアは日本にとって最大の石炭・鉄鉱石の供給源の一つです。
問2	答え 1 アンデス山脈	南アメリカ大陸の西側には、環太平洋造山帯の一部であるアンデス山脈が南北に走っています。この山脈は標高が非常に高く、急峻な地形を形成しているため、地形断面図では大陸の西端（左側）の標高が突出して高くなります。一方、山脈の東側にはアマゾン川流域の広大な低地などが広がっており、標高は全体的に低くなっています。
問3	答え 1 1960年代には日本やイギリスが主要な輸出相手国であったが、2010年代には中国の割合が最大となり、イギリスの割合は大幅に減少した。	オーストラリアの輸出相手国は、1960年代にはイギリスを中心としたヨーロッパ諸国や、工業化を進めていた日本が中心でした。しかし、イギリスの欧州共同体（EC）加盟や、中国の経済成長に伴う鉄鉱石・石炭などの資源需要の高まりを受け、2013年の統計では中国が最大の輸出相手国へと変化しました。これに伴い、かつての主要な相手国であったイギリスの影響力は大きく低下しています。
問4	答え 1 ブラジルは世界有数の鉄鉱石の産出国であり、日本にとってオーストラリアに次ぐ第2位の輸入相手国となっている。	ブラジルにはカラジャス鉄山などの巨大な鉄鉱石の産地があり、鉄鋼業に不可欠な資源として世界中に輸出されています。日本の統計では、輸入される鉄鉱石の約4分の1以上がブラジル産であり、オーストラリアに次ぐ安定した供給源として日本の工業に深く関わっています。なお、銅鉱の主な産出国はチリ、石炭や原油の主な輸入先は別の地域となります。
問5	答え 1 ブラジル	南アメリカ大陸の東側に位置するこの国は、北部の低地（アマゾン盆地）から中南部の高原地帯まで非常に広大な領土を有しています。西側のアンデス山脈を抱える国々や、大陸南部のラプラタ川周辺の国々と比較しても、その面積は突出して大きく、大陸全体の約47%を占めています。
問6	答え 1 南半球に位置するため、夏季にあたる1月や2月に降水量が集中している。	オーストラリアは南半球に位置しているため、北半球にある日本とは季節が逆転します。そのため、1月や2月は夏季（夏）にあたります。タウンズビルのようなオーストラリア北東部は熱帯や亜熱帯の影響を強く受け、気温が高い夏季に降水量が集中し、冬季にあたる7月や8月には乾燥するという、明確な雨季と乾季のサイクルを持っています。
問7	答え 1 オセアニア	地球上の陸地を大きなまとまりで分けた「州」の一つです。オーストラリア大陸を中心として、メラネシア、ミクロネシア、ポリネシアといった太平洋の島々が含まれます。日本と同じ東経135度の経線が通る地域もあり、経度的には近い位置にありますが、赤道を越えた南側に位置していることが地理的な特徴です。
問8	答え 1 多文化社会	1970年代以降、オーストラリアはそれまでの白人優先の政策（白豪主義）を廃止し、先住民やアジア系などの多様な移民の文化を尊重する「多文化社会（多文化主義）」を国の方針として掲げました。先住民であるアボリジニの伝統や聖地であるウルルルの保護を重視する姿勢は、単なる歴史的な反省にとどまらず、国のアイデンティティを形成する重要な要素となっています。